

自動認識の世界をより身近に **Flags**

vol.148 2017
9月号

『第19回自動認識総合展 来場前に必見！今年の見どころ』

毎年、開催が恒例となりました「自動認識総合展」ですが、今年は17もの展示会が同時開催され、東京ビックサイト全館挙げてのビックイベントとなります。なかでも、自動認識技術が数多く採用された電子部品関連と食品関連の開催が目立ち、大いに見応えが期待できます。9月13日から15日の3日間の開催ですが、最新技術の祭典を思う存分に楽しむ為には、ぜひ時間を十分にとりてご来場ください。



昨年の当社ブースの様子
(今年の当社ブース位置:東6ホール A-03)

今年の注目

今年はなんといっても自動認識関連の業界の中で話題をさらった『コンビニ電子タグ1000億枚宣言』の実現化に注目されるのではないのでしょうか？

今年の4月に経済産業省が発表した2025年までに、セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、ニューデイズの全ての取扱商品(推計1000億個/年)に電子タグを利用することについては、一定の条件の下で各社と合意することができ、共同で行うコンビニ界のレポートリビューションです。

この話題で、RFID関連業界は一気に活気付いてきていますが、実現するにはまだまだクリアしなければならない多くの課題が残されています。

例えば、数十円の低価格な商品に付ける電子タグ自体の単価の問題やUHF帯RFIDが苦手とする水分、アルミ包装などの商品に対して、読取り易さの実現など高いハードルが待ち構えています。こうした難題を目の前にして、「どうするの？」など、不安の声があるのも事実です。今後一層の少子高齢化が進む日本では、今から将来を見据えた新たな社会インフラへの取り組みは必要不可欠なタスクでもあるのです。実現化への道は険しくとも、自動認識技術の新たな可能性と、次世代の生活しやすい社会インフラ作りの挑戦に期待が懸っています。

開会2日目14日の10時20分から12時20分まで、有料セッションではありま

AUTOID & COMMUNICATION EXPO
第19回 **自動認識総合展**
2017.9.13(水) - 15(金) 東京ビックサイト 東ホール
10:00-17:00
今年のコンセプトは「ID First ~IoTはIDから~」



同時開催展示会

IFPEX 2017
International Food Power Exhibition 2017

測定計測展
MEASURING TECHNOLOGY EXPO 2017

SENSOR EXPO JAPAN
センサエキスポジャパン 2017

SUBSEA TECH JAPAN 2017
第2回 海洋産業技術展

TEST 2017 JAPAN TESTING TECHNOLOGY SHOW 2017
第14回総合試験機器展

<電子部品関連>

FOOD SYSTEM SOLUTION 2017
フードシステムソリューション2017

FOOD SAFETY JAPAN 2017
フードセーフティジャパン2017

FOOD DISTRIBUTION 2017
フードディストリビューション2017

PLUS 新たな価値をプラスする材料・機械・技術の展示会

EVEX EV・PHV普及活用技術展2017

<食品関連>

すが、「1000億枚宣言」を先導する慶応義塾大学の三次教授主催のセミナーで参加企業各社のパネルディスカッションなどが企画されておりますので、ご興味がありましたら自動認識システム協会までお早めにお申し込み下さい。

MTS ブースのみどころ

展示会場の入り口を一步入ると、目の前には当社ブースがお出迎えさせて

いただいております。黒いトンネルを抱えたコンベアが真っ先に見えてきます。実は、今一番ホットな製品で、コンテナに入った200枚以上のUHF帯タグ



トンネル一括リーダ

付きの衣類を一括で読取る事を可能にしたトンネル型一括読取りUHFリーダなのです。

その他にも卓上型、モバイルタイプなど幅広いUHF帯ソリューションに対応できる製品群の使い勝手を実際にご体感いただけます。

UHFコーナーを過ぎると、個人認証や決済、セキュリティ関連で多く利用されているNFCコーナーがお出迎えさせていただきます。

NFCコーナーでは最短3営業日で導入可能な作業実績収集パッケージ「WMステーション」、街中にある無人駐輪場の精算機能付き入退ゲート、組み込み用NFCリーダ・ライタなど、こちらも充実したNFCソリューションのご案内をさせていただきます。

さらにその奥には2次元バーコード・マシビジョンコーナーとなります。電子部品のトレーサビリティに欠かせない「DPM用2次元コードリーダ」です。2次元コードリーダに“文字認識”、“画像マッチング機能”、“印字品質検証”

を搭載した「一台4役のスキナ」でPLC側のプログラム開発無しでシームレスにスキナとの接続可能にした「PLCリンク機能」を搭載しています。加えて、今年の発売開始から大ブレイク中のインテリジェントポケットターミナル「MID-100」等々、みどころが満載されています。

マースウインテック社のコーナー

今年も共同出展するマースグループの一員のマースウインテック社（以下MW社）コーナーのみどころをご紹介します。

MW社は、「現金+カード」という現代社会には必要不可欠となったインフラ整備の先駆者として、紙幣識別機・ICカードリーダライタなどを自社で設計、開発し、その一翼を担っているメーカーです。今年の目玉は『オーダメイドKIOSK端末』と『無人ゲート式駐輪場システム』を出品いたします。

オーダメイドKIOSK端末はMW社

ならではのソリューションとなっており、運用用途に合わせてKIOSK端末にICカードの発券、異形カードの発券、又は紙幣の入金、レシート発行、精算返金機、など組み合わせ自由なオーダーメイドで提供できるKIOSK端末です。

もう一つの注目は『無人ゲート式駐輪場システム』です。

既に三井のリパークで有名な“三井不動産リアルティ株式会社様”の次世代駐輪場の開発事業で採用されたシステムです。駐輪場運営に必要な定期券の購入、発行から入退場の管理までをICカードを活用して無人化で運用する仕組みとなっております。

自動認識総合展では両システムをご体感いただけるスペースを確保して実機を設置いたしますので是非じっくりとご覧頂ければと思います。

その他にも、当社の特長でもある『業界随一の製品ラインナップ』をご覧いただけますように「自動認識機器 総合展示コーナー」を広く設けました。

カタログではお伝えしきれなかった機器の特徴など、実際の製品でご体感いただき、皆さまの更なる『業務改善』に寄与出来たら幸いです。

自動認識総合展の無料招待状をご用意しておりますので、ご希望の方は当社営業担当まで、お気軽にお声掛けください。

多くの皆さまのご来場をお待ち申し上げます。



文字認識OCR・印字品質検査機能搭載
2次元コード固定式スキナ MVF-500



手のひらサイズの照合アプリ付きポケットターミナル
MID-100

マースウインテック社の「無人ゲート式駐輪場システム」



次号予告

2017年 10月号は・・・

『自動認識総合展開催レポート』

についてです。

Flags 10月号は 10月 10日発行です。

都合により内容が変更になる場合がありますので、予めご了承下さい。
バックナンバーは弊社ホームページに掲載しております。

Flags / フラッグス

2017年9月号 Vol.148 2017年9月8日発行

編集・発行 株式会社マーストークンソリューション

編集事務局:03(3352)8545

本誌に掲載の記事・写真・図版などは著作権法によって保護されており、無断で転用・転載・複製することはできません。

本 社	東京都新宿区新宿1-8-5	新宿御苑室町ビル
	Tel:03(3352)8522	Fax:03(3352)8579
日立営業所	Tel:029(276)9555	Fax:029(276)9556
名古屋営業所	Tel:052(218)7661	Fax:052(218)2607
大阪営業所	Tel:06(6353)5476	Fax:06(6353)6125
福岡営業所	Tel:092(441)3638	Fax:092(441)3639
X線営業部	Tel:042(484)6155	Fax:042(489)9241